

就労準備支援担当者養成研修

支援プログラム・メニューの開発

2016年9月28日
(公財)沖縄県労働者福祉基金協会
就職・生活支援 パーソナル・サポート・センター
岡野みゆき

【沖縄県労福協】

▶労働者の福祉の向上

- ⇒ワンストップ相談センターから見えてきて沖縄の貧困
- ⇒働きたくても働けない（就職できない）人
- ⇒「見て見ぬふりをしない」「できるところまでやってみよう！」
- ⇒「仕事と子育ての両立支援」⇒「子育てや介護の就職困難者支援」
- 「パーソナル・サポート・サービスモデル事業 第1弾」（2010）
- 「生活困窮者自立支援制度モデル事業」 +
「パーソナル・サポート事業」（一体的）

▶生活困窮者自立支援事業

30町村（沖縄県）、2市（那覇市、沖縄市）

▶就労準備支援事業（

30町村（沖縄県）+ 3市（うるま市、豊見城市、沖縄市）

⇒5週間コース（北・中・南部）

出張講習（3日間）

▶保護受給者も参加

●この講座の目標

対象者の状態に合わせた支援メニューの作成の必要性を理解する。

●この講座終了時には！

- ◎地域・対象者に合わせたメニューを創造したい！
- ◎できない理由ではなく、できる方法を探す！
- ◎仲間を増やす！ チームで！

●就労準備支援事業

⇒ 一般就労に向けた基礎能力の形成

★自由度が高い 何でもできる！

時間をかけたきめ細かい支援ができる

(一人ひとりと十分に関われる)

毎日会える、一緒にできる、変化を見れる

感動の場面！ グループの力、地域を巻き込める

相談者の特徴

長期失業や困難状態が続き、

- 生活リズムの乱れ
- 依存傾向**
- コミュニケーションが苦手
- 自信喪失**
意欲の低下
学習性無力感
自己否定、他者否定
- 精神面での不調(適応障害・うつ等)
- 病气やけが

うまくいかないことが続き...

未来への希望が持てない

論理的な思考ができず、**認知のゆがみ**

2. 生活困窮者自立支援制度の目指す社会像、目標、支援のかたち、基本姿勢

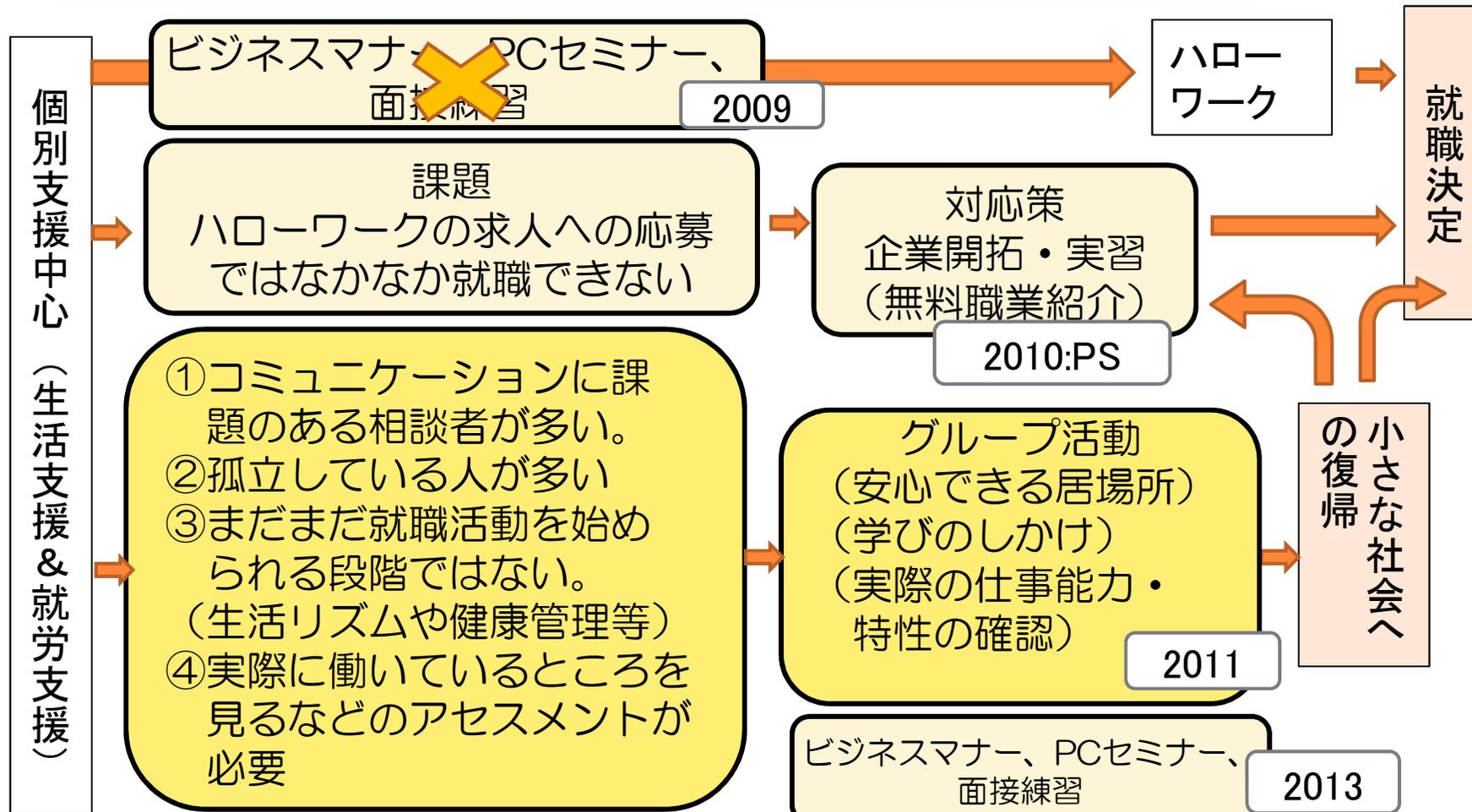
制度の目指す社会像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もが自立と尊厳を確保できる地域社会の実現 ・ 社会的排除や孤立のない全員参加型地域社会の実現 ・ 生活困窮を生み出さない地域社会の実現 ・ 生活困窮状態からの脱却が可能な地域社会の実現
-----------	--

制度の目標	
生活困窮者の自立と尊厳の確保	生活困窮者支援制度を通じた地域づくり

新しい生活困窮者支援のかたち	
(1) 包括的な支援	生活困窮者の課題は多様で複合的である。「制度の狭間」に陥らないよう、広く受け止め、就労の課題、心身の不調、家計の問題、家族問題などの多様な問題に対応する。
(2) 個別的な支援	生活困窮者に対する適切なアセスメントを通じて、個々人の状況に応じた適切な支援を実施する。
(3) 早期的な支援	真に困窮している人ほどSOSを発することが難しい。「待ちの姿勢」ではなく早期に生活困窮者を把握し、課題がより深刻になる前に問題解決を図る。
(4) 継続的な支援	自立を無理に急がせるのではなく、本人の段階に合わせて、切れ目なく継続的に支援を提供する。
(5) 分権的・創造的な支援	主役は地域であり、国と自治体、官と民、民と民が協働し、地域の支援体制を創造する。

信頼関係の構築	家族を含めた支援	チームアプローチの展開
ニーズの的確な把握	8つの基本姿勢	さまざまな支援のコーディネート
自己決定の支援	社会とつながりの構築	社会資源の開発

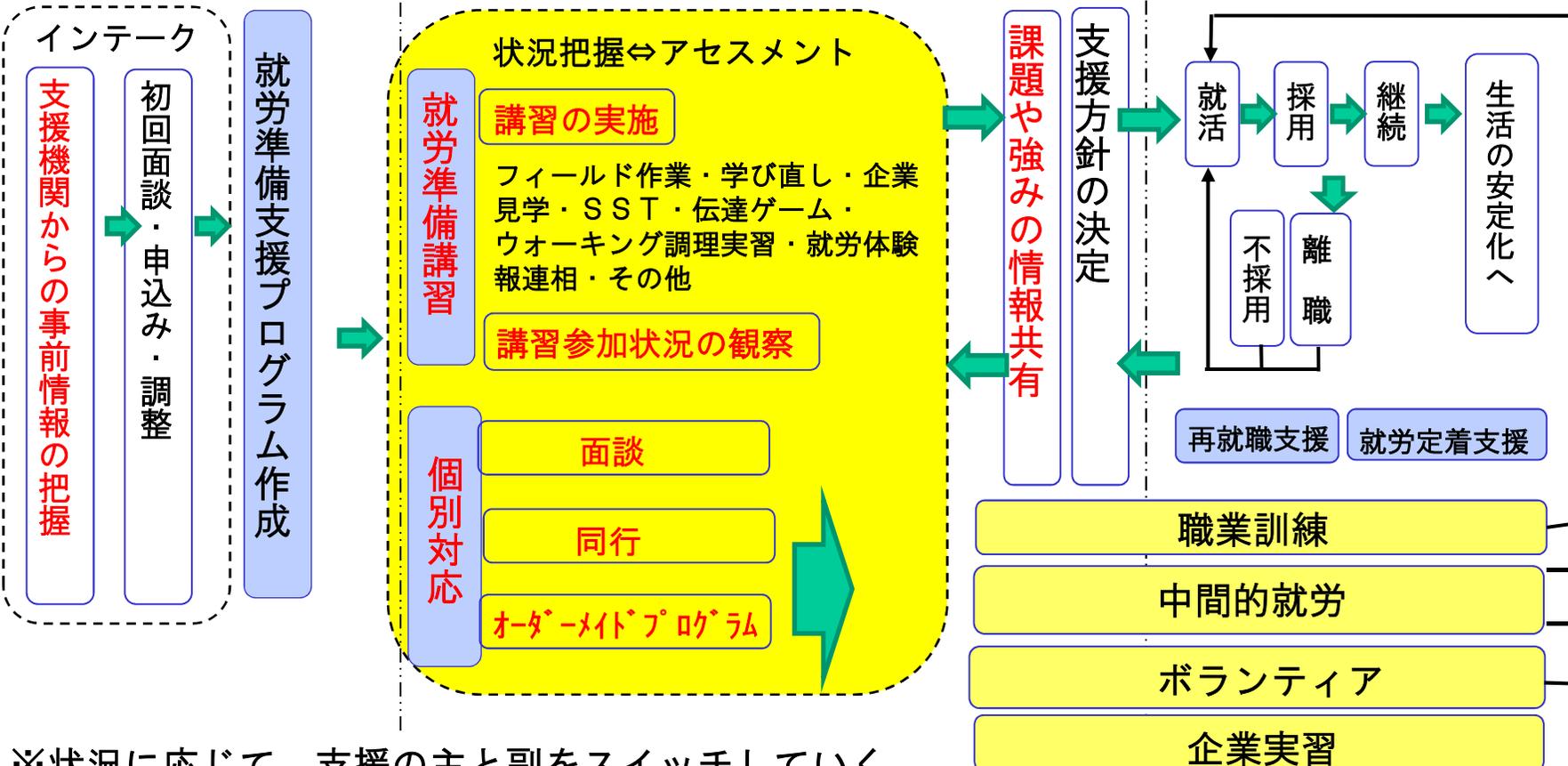
■対象者の状態(課題等)に合わせて対応 多様な支援メニューの必要性



一人ひとりをしっかり見て、聴いて、やれると信じて！
課題をクリアする方法を考え、取り組んだ結果⇒
支援メニューの増加

就労準備支援事業 ～支援の流れ～

※6カ月～1年



※状況に応じて、支援の主と副をスイッチしていく。



就労準備支援事業はいろいろ！

- ・就労準備講習(様々な種類のグループワーク)
- ・就労体験(企業実習)

基本は
個別アプローチ！

それを
窓口、相談室ではなく外で！

小集団の中で様々な活動の場を活用して効果を高める。

グループの効果！

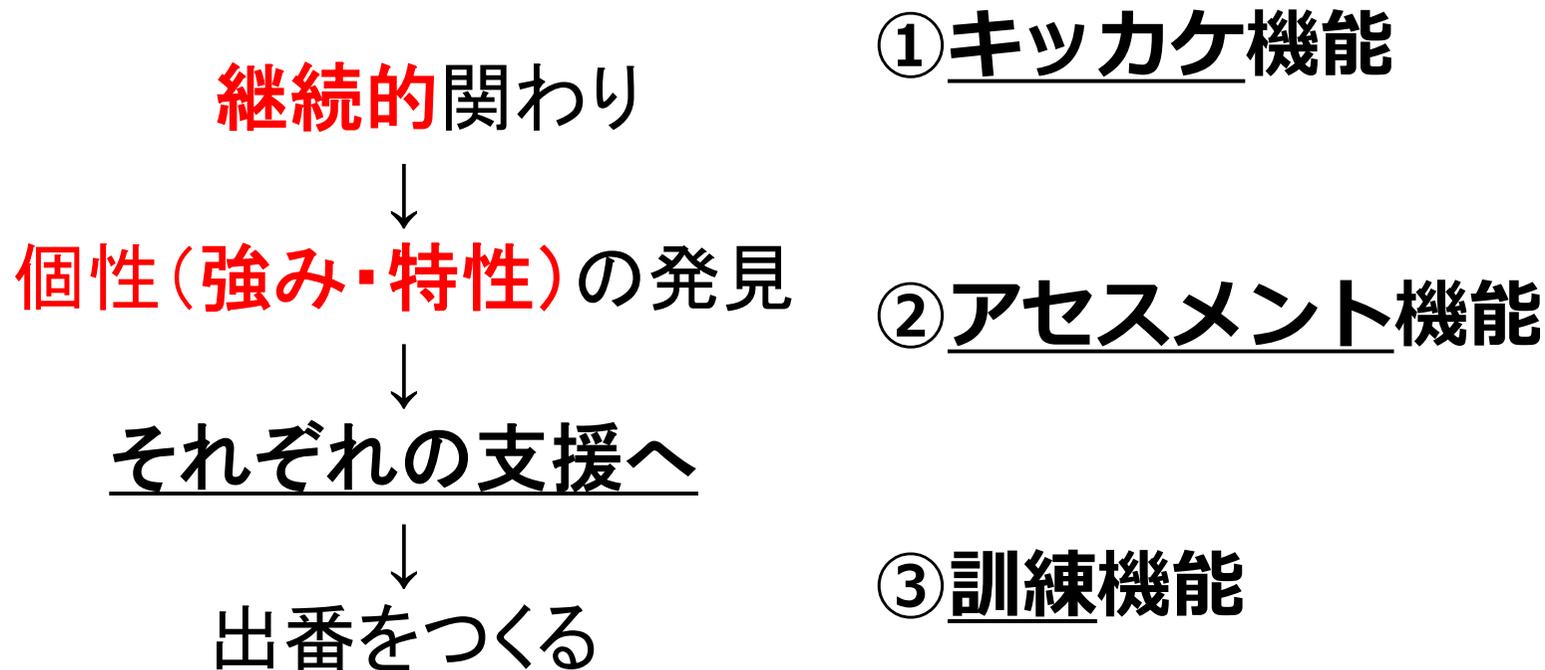
意欲がない／言い訳する
何がしたいのか分からない・・・



人が変わるキッカケとなる・・・3つの **感**
空気感・信頼感・安心感



【就労準備支援 – 3つの機能 –】



★様々な体験(楽しく)を通して
可能性の幅を広げる

支援する上で大切にしていること

自分の力だけでは自立することが難しい
⇒ 人や社会とのつながりの手助け！

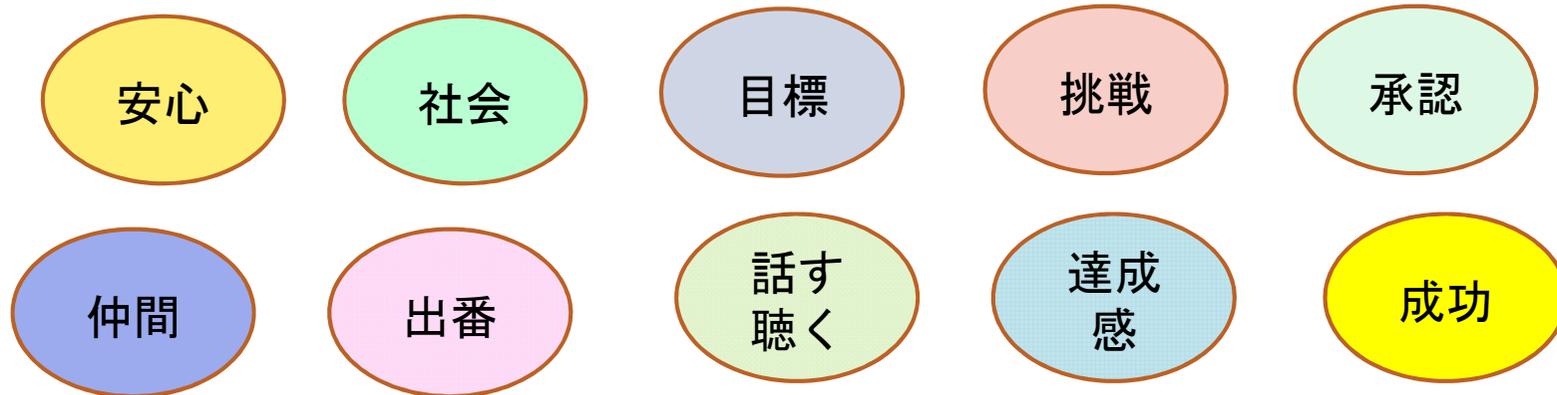
1. 相談者の状況、訴え、背景を把握・理解し共感する
(信頼関係構築 ⇒ 応援者として認めてもらう・アセスメント)
 - ・社会との接点を失い、孤立しがち(失業や対人関係スキルの未熟さなど)
 - ・客観的に考えることが難しい。混乱している、思考のくせ(認知のゆがみ)
2. 寄り添い型支援(精神的な寄り添い・孤独感を無くす意)と問題・課題の認識
 - ・孤立感を払拭し、共に問題解決に取り組む姿勢
(ひとりじゃない。一緒にやっ払いこう)
 - ・本人が自らの課題・問題を整理、認識するよう支援する(気づきの支援)
3. 自己肯定感情を高め、自らが解決の主体となりうることを重視した支援
(本人の持つ能力の活用・能力を引き出す・または能力を身に着ける)
 - ・本人を認める ・エンカレッジ(勇気づけ) ・エンパワメント
(自身の力で問題や課題を解決していく力や能力を獲得すること)

支援者も要支援者も対等！ 支え合い！

就労準備支援事業の場の設定！

自己理解・挑戦・成功体験・経験し直し・自己有用感の醸成
⇒ 自信回復「就労への基礎能力をつける」

就労準備支援事業の「場」にもとめられること



様々な「場(機会)」の提供
⇒ 経験し直し・学び直し
マイナス経験を「プラス経験」に上書きする場

主体性
勇気づけ

「スモールステップ」で**強み**を伸ばし、課題を克服する場

スタッフは〇〇〇〇〇〇〇〇〇！

ファシリテーター



ソーシャルワーカー

主役は、参加者！

就労準備講習は、 同じ場を共有しながらの **個別** 自信回復体験（経験し直し） 意欲換気 プログラム

対象者：傷つき体験、うまくいかないことが続いている人も多い

就労準備支援事業に参加したいと意欲的か？

参加してもらうにはどんな動機づけが必要か？

挑戦するには……



安心感

プラスに
なりそう

就労準備講習の場の設定！

➤ 少人数制

様々な阻害要因（特性などを複数持つ方が多いため、目配り・気配り体制）

➤ 講義型 △ ⇒ 参加型 ・ 体験型 ○

（自己開示、承認、自己肯定感・自己有用感）

➤ プログラム式 △ ⇒ 半オーダーメイド式 ○ オーダーメイド

（個人個人の目標設定と変化に合わせた柔軟な対応）

⇒ 個別支援を小集団の活動の場で！

* できること、興味のあること、不安が少ないことからスタート！

能力・興味・価値観などそれぞれに合わせたメニュー

「スモールステップ」で強みを伸ばし、課題に挑戦する場（基礎能力の形成）

○ 毎回、具体的に「できたこと、向上していること」のフィードバック、
「ありがとう」と言われる場面を通して承認する場を繰り返す

就労準備講習に参加した方へのアンケート結果 回答者—7名(補足資料)

【面白かった内容】

フィールド作業(4人)、企業見学(3人)、風船ゲーム(2人)、就労体験(1人)、調理実習(1人)、レクリエーション体操(1人)、人参販売(1人)、アイスブレイク(星なぞりゲーム)(1人)

畑仕事が楽しくて気分転かんにとても良かった。もう一度やりたい。畑の収穫がたのしかった。

【ためになった内容】

フィールド作業(3人)、学び直し(2人)、ボランティア(2人)、雑談や余談(2人)、企業見学(1人)、想いのマップ(1人)、各種ワーク(1人)、字の練習、けいぞくしてやりたい。

わからない事がいろいろあって、ためになっている。病院の事(ボランティア)が一番ためになった。

【講習前後の変化】

人との違いを当たり前の事として考えれるようになった。体力の調整ができた。受ける前よりだいぶ体力、集中力等がついたように思います。友達がふえた事。バス通勤が楽しみになった。スタッフや受講生の皆さんと出会えた事。家を出る時はイヤだと思うがセミナーに行けば楽しくなる。楽しくなった。なし



就労準備講習に参加した方へのアンケート結果 回答者—7名(補足資料)

【自分にとってこれから必要なもの】

リハビリ、体調管理、体調調整、体力向上。

できる仕事等を早く探して、生活面を安定させる為に少しでも行動に移せるようになりたいと思います。

良い仕事にめぐり合って、楽しく、働きたい。いろいろな仕事紹介等があれば参加したいです。

文字をわかる用にきれいに書く必要。字をきれいにかく、履歴書さくせい。

家、金、資格、愛、仕事、病院、パソコン、友達、肉。・リハビリ、講習。

【目標達成】

できた・・・0

だいたいできた・・・6

少しできた・・・0

できなかった・・・0

よく分からない・・・1



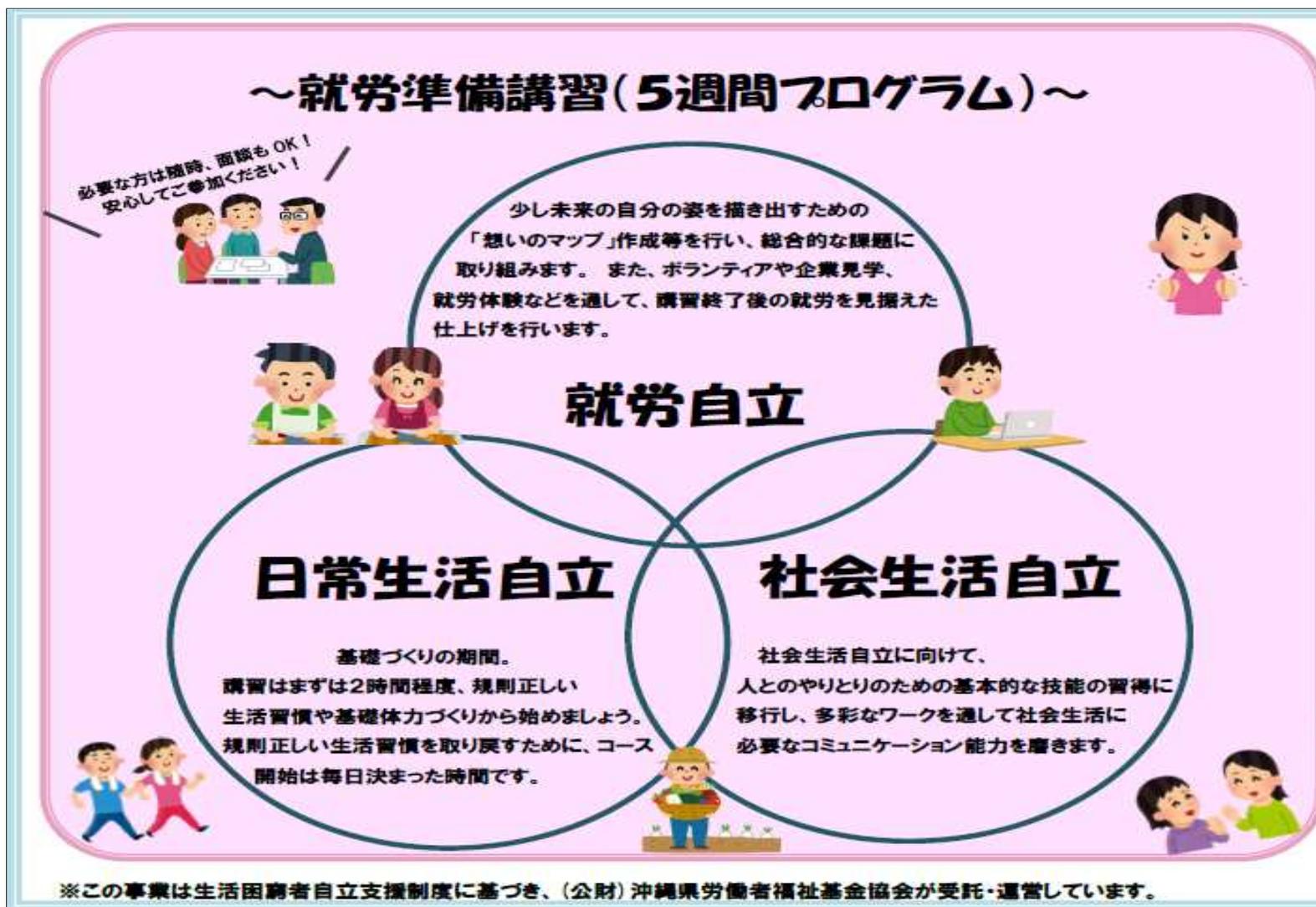
例えば就労準備講習の プログラム（各支援メニュー）

何だっていい！

体験してみる！
挑戦してみる！
自分の出番！
承認！
喜び！



【3つの“自立”の視点①】(補足資料)



【3つ“自立”の視点②】(補足資料)

▶ 日常生活自立

- ⇒ 毎日定時開始による日常生活習慣づくり
- ⇒ 体ならし、体力づくり、フィールド作業、美化作業
- ⇒ 読み書き、家計管理など基礎的なワーク

▶ 社会生活自立

- ⇒ 対人・集団コミュニケーションスキルに関するワーク
 - ・ 認知、SST、カードスピーチ、伝達ゲーム、協働ゲーム、調理実習
- ⇒ ボランティアなど社会と関わるきっかけづくり

▶ 就労生活自立

- ⇒ 今後の自立を計画するワーク
- ⇒ 職業訓練ガイダンス
- ⇒ 企業見学、就労体験

プログラム

- ☆ 3つの自立を意識
- ☆ 様々なメニュー
- ☆ 様々なきっかけ

承認！

【就労準備講習の仕掛け】

- ▶ ⇒ 毎日同じ時間にはじめる
- ⇒ 毎日日誌を書く
- ⇒ 毎日スタッフコメントをつけて返す
- ⇒ 毎日スタッフ間で振り返りを行う
- ⇒ 参加者の状況に合わせてプログラムを組み替える
- ⇒ 必要に応じて個別プログラムを追加する
- ⇒ インテーク、アセスを繰り返す
- ⇒ 一緒に昼食をとる
- ⇒ 必要に応じて送迎する
- ⇒ 場合によっては訪問する
- ⇒ 場合によってはアウトリーチする

★ 「講習」は社会体験の場。

★ 「講習」は目的ではない。

すべては参加者の「次の可能性」のために！



【きっかけ・アセスメント・訓練】

就労準備講習 日誌

氏名



2016年5月30日(月)	今日の講習: 前休はくし
*具体的な流れ・内容	
1. 日誌の記入	10:00~12:00
2. 体操	12:00~13:00
3. 事前確認作業	13:00~15:00
4. 振り返り	
	・反動をつけよう ・呼吸をけう ・オーバーストレッチ

★ワーク以外で関わる時間も、「情報収集」や「再アセスメント」に繋がる大切な時間！
 ★1日の最後にはスタッフ全員で「振り返り」をして、翌日のアプローチに繋げる。
 ★1日約6時間×5週間の連続性。
 ★個別状況に応じたタイミング&見極め&アプローチ
 ⇒この仕組みが信頼関係の構築へ
 やってみようかな〜スイッチ&モチベーション維持に!

*今日の目標	(今日の講習が終わった時、どんなことができていたらいいと思いますか?)
.	
.	
.	
*目標の達成感	悪い どちらでもない 良い
-----⊕-----	
*その他(次の講習の目標、講習中での気付き・スタッフへの要望など)	
少しづつコミュニケーションをあげて行きたいと思っています。	



*目標の中で出来たこと
・90分ワーク集めし出来た
・スライドの前を覚えることが出来た。
・
*できなかったこと
・輪の中に入りたいことができなかった。

日誌は大切なコミュニケーションツール。
 これからの事、提案、承認の言葉…
 一人一人に向けて文字で伝えます。

スタッフから

★さん、初めまして!! 皆、最初は話さないですよ!! (今日のメンバーは、2回目の参加がスタートだったので、慣れていたと思います😊) ★さんのハロースで、少しずつ慣れていって下さいね!! これから宜しくお願いします!! (遅)

★さん初参加、お疲れ様です。足のヤカ大丈夫ですか? 午後から参加されてうれしかったです。講習もスタートしたばかりです。少しづつ★さんのペースと一緒に楽しく取り組まねえ!! 今日はお疲れ様でした!! (友利)

【講習スケジュール：5週間コース】

就労準備講習（南部5回目）					
講習期間：2016年1月14日(水)～2月17日(水)					
	1月11日(月)	1月12日(火)	1月13日(水)	1月14日(木)	1月15日(金)
午前			10:00-11:30 事務局例会	10:00-12:00 オリエンテーション クーキング	10:00-12:00 クーキング 清掃
午後					
	1月18日(月)	1月19日(火)	1月20日(水)	1月21日(木)	1月22日(金)
午前	10:00-12:00 掃除くし	10:00-14:00		10:00-13:00	10:00-14:00
休憩		フィールド作業		花植え	就労体験
午後	13:00-15:00 事務局での集		13:00-15:00 会議 (希望者)		
	1月25日(月)	1月26日(火)	1月27日(水)	1月28日(木)	1月29日(金)
午前	10:00-12:00 ワーク1 手拭拭き	10:00-14:00		10:00-14:00	10:00-14:00
休憩		フィールド作業		ボランティア	就労体験
午後	13:00-15:00 レク体験		13:00-15:00 会議 (希望者)		
	2月1日(月)	2月2日(火)	2月3日(水)	2月4日(木)	2月5日(金)
午前	10:00-12:00 ワーク1 手拭拭き	10:00-14:00		10:00-12:00 ワーク2 カーナビ	10:00-14:00
休憩		フィールド作業			就労体験
午後	13:00-15:00 ワーク2 おの会つこと		13:00-15:00 会議 (希望者)	13:00-15:00 ワーク2 こいり給どうおも?	
	2月8日(月)	2月9日(火)	2月10日(水)	2月11日(木)	2月12日(金)
午前	10:00-12:00 職業訓練ガイダンス	10:00-14:00		建国記念日	10:00-12:00
休憩		フィールド作業			企業実習例会
午後	13:00-15:00 ワーク2 コミュニケーション		13:00-15:00 会議 (希望者)		13:00-15:00 ワーク2 協働チーム
	2月15日(月)	2月16日(火)	2月17日(水)	2月18日(木)	2月19日(金)
午前	10:00-12:00 調理実習準備	10:00-14:00	10:00-12:00 ワーク3 思いのつづ		
休憩		ワーク3 調理実習			
午後	13:00-15:00 ワーク3 伝達チーム		13:00-15:00 思いのつづ 閉了式		



個人作業、体力作り

→徐々に他者との関わりが増える

→コミュニケーションなどのスキルや感じ方について考えるワーク

→皆で一緒に取り組む作業

→これからの事について、考えてみるワーク

就労準備講習の流れ

徐々に変化が！
働く＝自分のためだけではない。
働く＝人のためになる
はたらくこと＝はたをらくにすること。
お互いさま！
誰かの役に立てる喜び！

まとめ

○生活リズムの立て直しから参加する方

同じ時間にスタートすることから始め、リズムを取り戻す！

最初の週は、2時間／日からスタートし、徐々に通所の時間を長くする。

毎日起きて、毎日参加して、ご飯を食べて、体力をつけて、人と話して、
力を合わせて、その先へ♪

自分だけでできること(朝起きる、休む時には連絡する、食事を取る)

→ 社会に一步出てみる(他人と同じ空間にいる)

→ 社会で人と関わってみる(話す、同じ空間で作業する)

→ 共同で作業する(協力が必要)

→ コミュニケーション訓練

→ 仕事の現場に触れてみる(実習、体験)

→ キャリアプラン

【講習スケジュール：5週間コース】

就労準備講習（南部4回目）

講習期間：2016年9月1日(木)～10月4日(火)

	8月29日(月)	8月30日(火)	8月31日(水)	9月1日(木)	9月2日(金)	
午前				官公労セミナー室 10:00～12:00 事前説明会	官公労セミナー室 10:00～12:00 オリエンテーション ウォーキング	
午後						
	9月5日(月) 官公労セミナー室		9月7日(水) 豊見城市	9月8日(木)	9月9日(金) 官公労セミナー室	
午前	10:00～12:00 体ほぐし	面談 (希望者)	10:00～15:00	面談 (希望者)	10:00～16:00	
休憩			フィールド作業			就労体験
午後	13:00～15:00 事前確かめ表					
	9月12日(月) 官公労セミナー室	9月13日(火)	9月14日(水) 南風原町中央公民館	9月15日(木)	9月16日(金) 官公労セミナー室	
午前	10:00～12:00 認め合うこと	面談 (希望者)	10:00～16:00	面談 (希望者)	10:00～12:00 レク体操	
休憩			就労体験 (パン作り)			13:00～15:00 学び直し①
午後	13:00～15:00 こんな時どうする？					
	9月19日(月)	9月20日(火) 豊見城市	9月21日(水) 官公労セミナー室	9月22日(木)	9月23日(金) ふれあい介護センター	
午前	祝日	10:00～15:00	10:00～12:00 報連相 カードスピーチ	祝日	10:00～16:00	
休憩		フィールド作業	13:00～15:00 調理実習準備		企業見学	
午後						
	9月26日(月) 官公労セミナー室	9月27日(火)	9月28日(水) カエルびあ	9月29日(木)	9月30日(金) 官公労セミナー室	
午前	10:00～12:00 お金どうする？	面談 (希望者)	10:00～15:00	面談 (希望者)	10:00～12:00 職業訓練カイダンス	
休憩			調理実習			13:00～15:00 伝達ゲーム
午後	13:00～15:00 おそうじセミナー					
	10月3日(月) 官公労セミナー室	10月4日(火) 官公労セミナー室	10月5日(水)	10月6日(木) 官公労セミナー室	10月7日(金) 官公労セミナー室	
午前	10:00～12:00 企業実習説明	10:00～12:00 想いのマップ				
休憩						
午後	13:00～15:00 協働ゲーム	13:00～15:00 修了式		13:00～15:00 PC事前講習 (ローマ字)	13:00～15:00 PC事前講習 (ローマ字)	

面談・同行
希望者

【講習スケジュール：3日コース】（補足資料）



あなたの夢や目標に近づくための
お手伝いをさせていただきませんか？

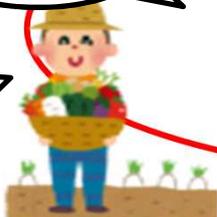
無料!

in 国頭村

朝おきて
活動したい

いろんな事に
挑戦したい

今よりも
体力をつけたい



ひとつでも当てはまったら
気軽にご参加ください♪



誰かと
お話したい

ワークショップや農業体験などを通して生活リズムを取り戻し、
コミュニケーションの取り方を練習する3日間の講習です。

日にち	時間	内容	詳細
7/11(月)	10:00~15:00	am オリエンテーション pm ウォーキング	就労準備講習の全体についての説明をします。 まずは体ならしと体力づくり!
7/12(火)	10:00~15:00	am 事前確かめ表 pm 花植えに挑戦!	今の様子を一緒に確かめよう。 花を植える体験を通して、花の種類を学ぼう。 施設の室内や室外をみんなで綺麗にしよう。
7/13(水)	10:00~15:00	am 国頭村探索 pm 学び直し	地域をウォーキングしながら体力づくりをしよう 字をゆっくりといねいに書いてみよう。

【講習スケジュール：例】約30種類！

	講習内容	場所	詳細
	オリエンテーション	室内	オリエンテーション ⇒顔合わせ。こんにちは
	事前相談・確かめ表	室内	事前相談など ⇒今の様子をいっしょに確かめよう
	フィールド作業	農場	フィールド作業 ⇒畑で体を動かして野菜を作ってみよう
	ウォーキング	事業所周辺	ウォーキング・清掃 ⇒まずは体ならしと体づくり
	清掃	事業所周辺	
	花植え作業	事業所周辺	花植え ⇒色とりどりの花で建物や道を飾ろう
	振り返り	室内	振り返り ⇒毎日の調子や目標をいっしょに確かめよう
	面談	面談スペース	面談 ⇒いつでも何でも気軽にどうぞ
	ワーク①学び直し	室内	ワーク① ⇒字をゆっくりていねいに書いてみよう
	ワーク②お金どうする？	室内	ワーク② ⇒お金の出入り確かめて、やりくり上手になろう
	ワーク③認め合うこと	室内	ワーク③ ⇒じぶんのこと伝えて、相手のこと聞いて
	ワーク④こんな時どうする？		身につけよう
	ワーク⑤カードスピーチ		練習！おハハリって楽しい！
	レク体操		いろいろなゲーム！
	フィールド作業		野菜を作ってみよう
	ワーク⑥コミュニケーション		か、楽しく伝えよう
	ワーク⑦伝達ゲーム	室内	ワーク⑦ ⇒絵で伝えられる？文字で伝えられる？
	ワーク⑧協働ゲーム	室内	ワーク⑧ ⇒他の人といっしょに力を合わせて助け合いながら
	ワーク⑨調理実習	室内(実習室)	ワーク⑨ ⇒みんなで手分けして作ってみよう、食べてみよう
	ワーク⑩想いのマップ	室内	ワーク⑩ ⇒少し未来の自立した自分の姿を思い描こう
	ボランティア	依頼施設	ボランティア ⇒人のために何かやってみよう
	職業訓練ガイダンス	室内	職業訓練ガイダンス ⇒資格や技能を身につけて、そして仕事へ
	グッジョブセンターツアー	グッジョブセンター	ツアー ⇒仕事の探し方おぼえて、ためしに探してみよう
	就労体験	企業先	就労体験 ⇒自分だったらどうやって働こうかな？
	パソコン	室内(PCルーム)	パソコン ⇒やっぱり何かと使うよね。でも、ほらお勉強
	企業見学	企業先	企業見学 ⇒なるほどなるほど
	振り返り	室内	振り返り ⇒最初の頃を思い出して、こんなに違うっ！
	聞き取り相談	室内	相談など ⇒これからどうする？訓練？就職？
	修了式	室内	修了式 ⇒おめでとっ！
前	事前個別面談		面談 ⇒ゆっくり話そう、ていねいに話そう、簡潔に話そう、
後	終了後個別面談	グッジョブセンター	

一体的実施の事業も
含めると120以上！

【日数、内容は変更ばかり！】

▶一人ひとりをしっかり見て！

ここだ！と思うタイミングで関わる

プログラムの各メニューは変更しないが、内容はより良いものという視点で変更を繰り返す。

強みを発見

⇒ 一人ひとりの出番づくり！

個別アプローチをグループ活動の中で！

一人ひとり阻害要因は異なる。準備段階も異なる。

⇒ **対象者の状態に合わせた支援メニュー作成**

就労準備講習がスタートする前に(補足資料)

①自立相談支援事業担当等との情報共有

(健康状態、障害要因、特性、意欲、課題、目標など)

②本人との面談(事前相談・顔合わせ)

セミナー説明

参加の意思確認

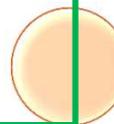
困りごとを確認

講習を通しての目標(短期・中期・長期等)

③オリエンテーション

スケジュールやルール説明

⇒ 受講開始



連続性のあるセミナーの効果！（補足資料）

- 信頼関係の構築
- 居場所ができる ○仲間ができる
- 本人も自らの現状を様々な角度から確かめることができる
- 毎日のステップを見る、付き合うことができる
- 変化・進捗・習熟が実感できる
- 支援員にとって、本人状況のアセスメントができる
- 次の段階へ向けた緻密なスクリーニングができる

パスあり
無理せず
相談

多様なメニューの効果！

○初めての体験で気づきの大きなきっかけになることもある。

苦手だと思っていた、避けていた。だけど挑戦してみたことで大きな変化に繋がることも多い。（自己決定・自己選択！！無理強いはいしない！）

■対象者に合わせた支援メニューの必要性

目の前の相談者一人ひとりに必要なことは何か？という視点で！ 支援メニューが増えた！！



コミュニケーションが苦手

椅子に座ってやるのは嫌

マイナス思考（自責・他責）

内向的な人

【コミュニケーションセミナー】
あいさつ・（声を出す・目を合わせる）



【畑・美化作業、ボランティア体験等】
・屋外に出て、集団の中での活動
・人と関わらないでもいい作業



【マイナス思考を変えるセミナー】
SST・アサーション
・コミュニケーションに課題
・思考のくせの修正が必要



【作業療法的セミナー】
・自分のペースで屋内で個人作業
・絵を描く・陶芸・字を書く



【キャリアプラン】
想いのマップ・カラーージュ（ほしい物）



にに合わせて支援メニューが増えた
相談者の状態と興味・能力・価値観



【就職準備セミナー】
（企業実習前漫画セミナー）

担当者制の個別相談 + セミナー担当との協働

相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！①

あなただったら、どんなメニューを作る？（入り口として）

○対象者は？

入りやすさ：興味・能力・価値観・できる事

①体力がある・動くことが好きな中年男性 ⇒

（例）畑作業、美化作業など

②孤立している中年男性 ⇒

（例）パソコンセミナー、料理教室、陶芸、
地域ボランティア（清掃など）

相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！②

あなただったら、どんなメニューを作る？

○対象者は？

③人と関わるのが苦手・他人との関わりを避けている、
自信がない ⇒

(例) 絵を描く、陶芸、パン作り、畑作業、コラージュ、
コミュニケーション基礎編等

④就労可能なのに意欲が低い ⇒

(例) ボランティアで「ありがとう」と言われる体験、
セミナーでの出番、企業見学ツアー、企業実習等

相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！③

あなただったら、どんなメニューを作る？

30代男性（両親と同居）
コミュニケーションに課題のひきこもり歴あり。発達障がいのボーダーライン？
お金を使いすぎる

50代男性（一人暮らし）
社長経験者、事業が上手くいかず倒産。アルコール依存、うつ病発症

40代女性（一人暮らし）
パワハラや職場のいじめで退職。DV被害者経験あり

パソコン

企業実習

ボランティア

畑作業

パン作りと販売

アルコールセミナー

陶芸

コラージュ

キャリアプラン

家計管理

清掃

コミュニケーション

その他



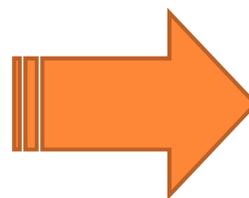
相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！④

あなただったら、どんなメニューを作る？

○メニューを分類

- 作業療法系
- 運動系(体を動かす)
- 依存症系
- 認知行動療法系
- コミュニケーション系
- ストレスマネジメント系
- キャリアプラン系
- ビジネスマナー系
- スキル(資格)系
- 知識系

居場所からスタートして
分類されたメニューの中
でもスモールステップの
しかけあり！



相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！⑤

あなただったら、どんなメニューを作る？

○パソコンセミナーと一口で言っても…

同じタイトルでもスモールステッププログラムあり！



第1ステップ

来ることから、休むときには電話、1人で作業(2時間)

第2ステップ

好きなときに来て練習(使いたいときは声をかける)

第3ステップ

ワード・エクセル・インターネット興味を広げる

第4ステップ

入力メインで「仕事発注(模擬職場体験①)」

第5ステップ

2人1組で調べ物(好きなテーマ)と発表

第6ステップ

仕事分担「仕事発注(模擬職場体験②)」

無理なく徐々に就労
への力がつく流れる
メニューの多様性。
参加者に合わせて
プログラムを作成！
自己肯定感
UP！

相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！⑤

1日の関わり方(例)



9:00 送迎

毎日、モーニングコール！
送迎中は情報の宝庫♡

10:00 講習スタート
日誌記入 (目標設定)

午前ワーク ~休憩

(例:ウォーキング、学び直し、花植え...)



12:00 昼食

参加者もスタッフもリラックス～♪
タバコ、雑談、将棋、居眠り...

13:00 午後ワーク ~休憩
(例:協働ゲーム、企業見学、職場体験...)



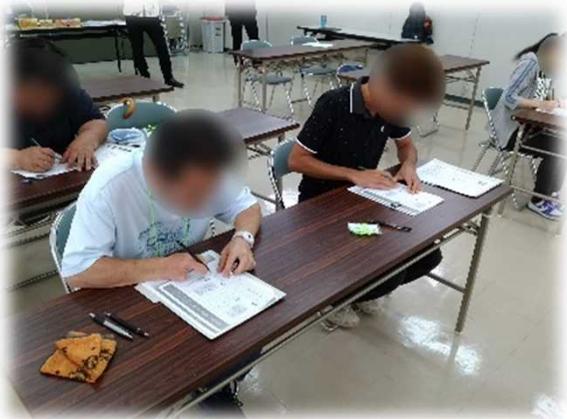
14:45 日誌記入 (振り返り)

15:00~ 送迎

ワークの反応を聞くチャンス！
疲れ具合も見える！



就労準備講習 日誌		氏名	☆☆☆
2016年 月 日 (月)	今日の講習: 講習内容	氏名	☆☆☆
※具体的な流れ・内容 1. 日誌記入 (10:00~12:00) → 研修進行 2. ワーク (12:00~13:00) → 休憩 3. 研修内容 (13:00~14:45) → 研修進行 4. 振り返り (14:45~15:00)	※今日の目標 (研修の目的や自分の目標、どんなことをしたいか、何を学ぶか?) ※目標の中で出来たこと ※できなかったこと	※今日の達成度 (0% ~ 100%) ※その他 (次の研修の目標、研修の中で感じた・スタッフへの要望など) ※スタッフから	※できなかったこと ※できなかったこと
スタッフから ☆ 研修内容が、最初は少し大変だったが、2日目の研修が多かったため、慣れが出てきた。 ☆ 研修内容が、最初は少し大変だったが、2日目の研修が多かったため、慣れが出てきた。 ☆ 研修内容が、最初は少し大変だったが、2日目の研修が多かったため、慣れが出てきた。			



補足資料

自己選択
自己決定



○共通のプログラムの中で、一人ひとりに合わせた個別支援(目標設定や振り返り)を行う視点。



《日常生活自立支援》

対象：生活リズムの立て直しや健康管理など生活習慣の形成や回復が必要な方



農作業

働いて汗を流すのってこんなに気持ちがいいことだったんですね。



清掃②①(ボランティア)

夢が叶いそうな気がします。
夢を持つ、語るなんて何十年ぶりだろう...夢っていいですね。頑張りたい気持ちになりました

調理実習①



人の輪の中に入ることは緊張したけど、担当相談員の励ましで頑張ってきて良かった。久しぶりに他人と目を合わせた。またみんなと会いたい

なりたい自分・ほしい物探しセミナー



【ねらい】

- ・イメージが明確になり、潜在意識に働きかけることができる。
- ・目標を叶えた状態をイメージさせてくれるので、自然とセルフイメージが高まる。



《社会生活自立支援》

就労の前段階として、社会とのつながりをもつ。仲間づくり、協力して作業を行う事で、気遣いが生まれる。ボランティア活動を通して「ありがとう」と言われる体験から就労意欲の喚起を目指す。コミュニケーション訓練にも力を入れている。できないと思っていたことへも挑戦し、乗り越え自信の回復に繋がる場面も多い。自己理解が深まると同時に、安全な場で勇気を出して挑戦している。面談では見えない適性が見え、その後の支援に活かしている。



保育補助(ボランティア)②

目を大きくあけて話をするだけでも変わることになりました。行動力がつくようになり、少しずつ自信が持てるようになりました。



美化作業・花植え作業②

インプロ② (自己表現のエクササイズ)

6つの力をつけよう!

コミュニケーション力・柔軟性・表現力行動力・
協調性・発想力



コミュニケーションセミナー①



「ありがとう！」って職員の方に言われました。感謝されるのって何年振りだろう。うれしいものですね。またやりたいです。(けっこう疲れた…)

《就労自立支援》

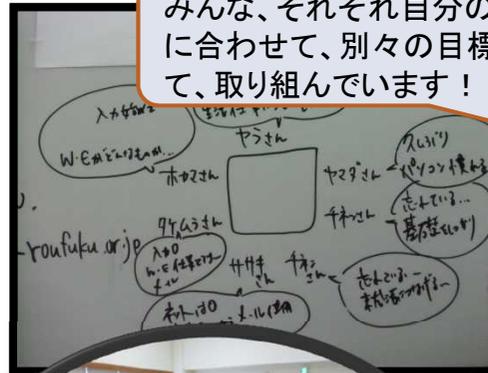
アサーションセミナー



一般就労に向けた実践を意識したトレーニング。コミュニケーションに課題がある方が多いので、実際に職場等で困った経験を基に認知行動療法を活用して偏った認知の修正を促す。求職活動に向けたトレーニングやキャリアプラン、就労に向けたパソコン訓練などを行う。

みんな、それぞれ自分のスキルに合わせて、別々の目標を立てて、取り組んでいます！

難しいけど、先生が毎日ていねいに教えてくれます。上達してきてうれしい！



面接に自信が無い人のための発声と身体のレッスン



パソコン就労セミナー

就労体験



自分の気持ちを素直にかいたり、絵におきかえるのは、難しいけど楽しかった。前に進みたい。

就労準備セミナー (仕事をする上での心構え & キャリアプランニング)



相手の身になって気持ちのいいあいさつなんて考えたこともなかった。とても学びがありました。

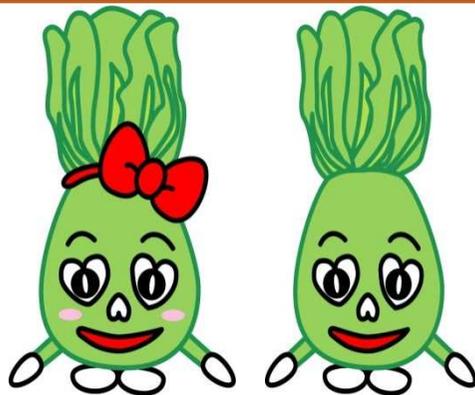
SST②(社会技能訓練) コミュニケーション)

他機関、他事業、NPOなどとの連携による

実習受入れ



より多く売れるために、「ロメインレタス」のキャラクターを考えて、絵の具で絵を描いてみました。それをパソコンセミナー受講生がきれいにパソコンで作ってくれました。



働ける場があって嬉しいです。苗植えから始まって、収穫・袋詰め、販売までいろいろ経験させてもらいました。畑の仕事もそうですが、仕事の幅も広がってきました。何より、かなり体力がついてきました。楽しい！！



【就労準備講習 目的と活用法】（補足資料）

一人ひとりに合わせて、スタッフ（自立支援事業担当も）と一緒に 講習期間の目標設定！

毎日の目標設定は、各自で立てる。

- ▶個別アプローチを小集団での活動の場で行い、スモールステップで挑戦。承認され社会性を身に着ける。
- ▶コミュニケーション力があるので、集団活動の中で生かすことで意欲換気に繋げたい。
- ▶一人で社会参加する前に、企業実習へ繋がられる状況か、社会性、体力などを確認したい。

【企業実習】

- ▶ その方の状態から、小集団での活動というスモールステップを踏むよりも社会へ出る活動が合う方。
- ▶ 適性に合わせた職種、仕事の切り出しなども提案。
- ▶ 職場で関わる人へのアプローチ（指導員）
- ▶ ジョブコーチ的支援

地域の社会資源を活用

就労(実習)を通じた成長・気づき(補足資料)



企業実習で大切にしていること

◎一人ひとりの実習の目的と目標の明確化(スモールステップ)
自立相談支援事業との連携

◎支援員が実習体験をしてマッチング、企業の現場職員との
信頼関係構築、ジョブコーチ的支援(必要に応じて)

◎振り返りを大切に

本人+支援員+職場の担当で振り返り(事業所訪問)

○本人:できた! 次に進めそうな気がする!

○支援員:次につながるアセスメント



居場所
安心していられ
る場所

**スモール
ステップ。**

役に立つ

**楽しく
社会参加**

**環境が変われ
ば人は変わる**

仲間

**就労準備支援事業
キーワード**

**地域巻き込
み力**

**経験を
いかす**

わくわく

経験し直し

自立

出番、役割

アセスメント

まとめ

◎意欲の低い人

⇒就労準備講習の入り口は入りやすく！

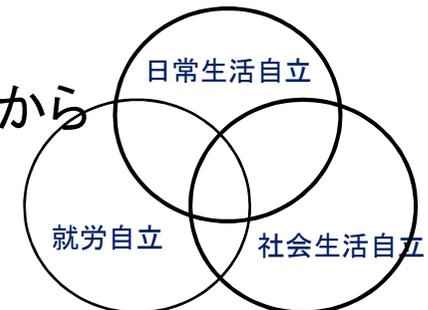
その人の「興味・能力・価値観等」に合わせたメニュー作り

⇒多彩なメニュー

何がその人の意欲喚起のきっかけになるか分からないから
いろいろなメニューがあった方がいい。



自己実現



自己選択・自己決定

◎ステップアップ

⇒自己肯定感を高めるためスモールステップでのメニュー

その段階に応じたメニューが必要

出来た！出来そうな気がする
次のステップへの準備が整う！



◎個別支援(個別アプローチ)をグループ活動の中で！

⇒プログラムはあるが、一人ひとりの目標設定と承認

対象者の状態に合わせた多様な支援メニューが効果的



まとめ



◎「就労準備支援事業」は
居場所～集団の中での学び～就労体験を通じた学び
「就労準備支援事業」を通してできることはたくさんある。

◎「できない理由」ではなく、「できることから一步一步着実に」

仲間を増やす！ 地域というチームで

◎地域にある「社会資源」各機関、各事業との連携

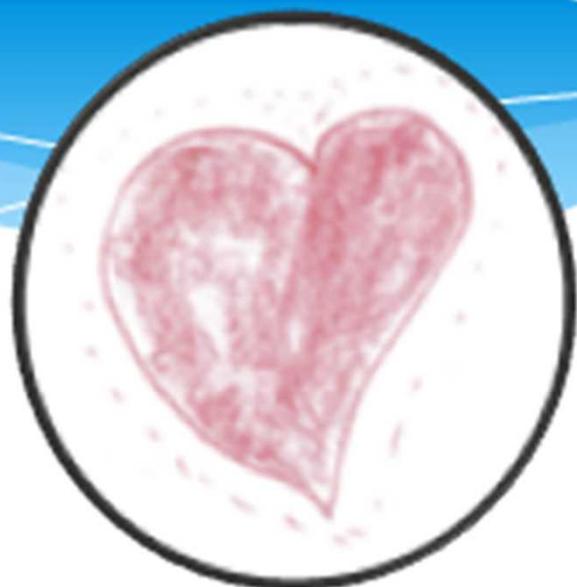
⇒ **連携で相談者の可能性が広がる**



～未来の自分から今の自分へのメッセージ～
今は、いろんな事があるけど、こなんをのりこ
えたら たしょうよ、らくになる

かたくも 大事にする
いつか前向きにいろんなことにチャレンジする事

30代男性 妻と息と2か月の子
知的障害のボーターと区別される。



～未来の自分から今の自分へのメッセージ～

「どこにでも行けて、
いつでも帰れる」

失敗しても大丈夫。

何回失敗しても、今の自分よりは、成長してるよ。
少しずつ自分を好きになって 回りを見るよかも
できるよ。

30代専業主婦 対人恐怖症
経済的理由で結婚しないといけないが怖い。
小学生～幼稚園生の子がいる。 ❄

就労準備講習の場の設定！

参加者は、一人一人が〇〇！



その人の状態に合わせて支援！



お疲れ様でした。

補足資料として
次のワークで使います

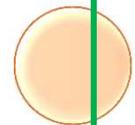


【演習 1】

頭の体操！

あなたが考え付くセミナーメニューをできるだけ多く付箋紙に書き出しましょう。(1枚に1メニュー)

就職支援の一般的なメニューだけでなく、一風変わったメニュー、自分の地域で取り入れてみたいメニューという視点も入れて考えてみましょう。



【デスクの大きさに合わせて

カレンダーを作成してください】

①模造紙をデスクの大きさに合わせて折り曲げ、付箋紙を
図のように貼る。

* 右側にスペースを空けてください。

②カレンダーの罫線を引いて、小さく日付を記入してください。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5		
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

付箋紙

模造紙



【演習 2】

相談者に合わせたメニューを考えよう！

Q: 母親と二人暮らしの40歳の男性。母親の年金で暮らしており未就業期間が15年。(親の施設入所に伴い、自立相談事業に繋がった)その他にも40代後半以降の単身生活をしている男性がセミナーへの参加を渋っている状況である。頑固、気が弱い方などコミュニケーションに課題のあるも多い。そのような対象者向けの1か月のセミナープログラムを各グループで1つ作成しましょう。

ポイント

1か月のプログラムの中のセミナーメニューをいくつか考えてみましょう。

1. セミナーへ参加することへの不安やためらいがある方が多いですが、**まずはセミナーに参加してみようという気持ちになってもらえるように、ストレングス視点で参加しやすいセミナーメニューを考えてみましょう！**

* 自分がそのセミナーの講師をできるできないではなく、こういう相談者層にはこんなセミナーがいいのでは・・・という視点で考えてみましょう。

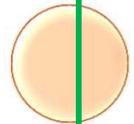
【演習 2】

相談者に合わせたメニューを考えよう！

①個人ワーク

まずは、自分自身でできるだけ多く考えてみましょう！

付箋紙に「セミナー名」を記入して手元の空いているスペースに貼り付けましょう。



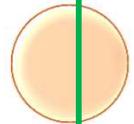
【演習 2】

相談者に合わせたメニューを考えよう！

②グループワーク

グループのみんなで共有しましょう。

【演習 1】や【演習 2】の①個人ワークで記入した各自の付箋紙（セミナー名と内容、目的等）を説明し合い、模造紙の空いている所に分類しながら張り付けましょう。時間があれば、分類したグループ毎にタイトルをつけましょう。



【演習 2】

相談者に合わせたメニューを考えよう！

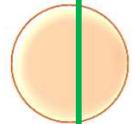
②グループワーク

グループのみんなで、そのグループで取り入れるメニューをいくつか選んでください。

タイトル

選んだ理由

時間があれば、ご記入
ください。



【演習 2】

相談者に合わせたメニューを考えよう！

Q: 母親と二人暮らしの40歳の男性。母親の年金で暮らしており未就業期間が15年。(親の施設入所に伴い、自立相談事業に繋がった)その他にも40代後半以降の単身生活をしている男性がセミナーへの参加を渋っている状況である。頑固、気が弱い方などコミュニケーションに課題のあるも多い。そのような対象者向けの1か月のセミナープログラムを各グループで1つ作成しましょう。

ポイント

1か月のプログラムの中のセミナーメニューをいくつか考えてみましょう。

2. コミュニケーションに課題のある方が多いので、コミュニケーション力をつける工夫を凝らしたメニューを取り入れたいと思います。メニューを考えてみましょう。

* 自分がそのセミナーの講師をできないのではなく、こういう相談者層にはこんなセミナーがいいのでは・・・という視点で考えてみましょう。

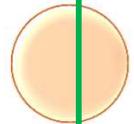
【演習 2】

相談者に合わせたメニューを考えよう！

①個人ワーク

まずは、自分自身でできるだけ多く考えてみましょう！

付箋紙に「セミナー名」を記入して手元の空いているスペースに貼り付けましょう。



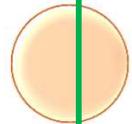
【演習 2】

相談者に合わせたメニューを考えよう！

②グループワーク

グループのみんなで共有しましょう。

【演習 1】 や 【演習 2】 の①個人ワークで記入した各自の付箋紙（セミナー名と内容、目的等）を説明し合い、模造紙の空いている所に分類しながら張り付けましょう。時間があれば、分類したグループ毎にタイトルをつけましょう。



【演習 2】

相談者に合わせたメニューを考えよう！

②グループワーク

グループのみんなで、そのグループで取り入れるメニューをひとつ、**いくつか**選んでください。

タイトル

選んだ理由

時間があれば、ご記入ください。

【演習 3】

グループで就労準備講習メニュー (1か月プログラム)を作成しましょう！

これまで出た付箋紙を使って、
1か月のプログラムを組み立てましょう。

自分たちだけでは今開催できない(自分たちでは教えられない、場所が確保できない)メニューがあっても、やってみたいメニューがあれば、プログラムに入れてください。

スケジュールの組み立て方

- A. 曜日ごとのメニューが決まっていない
- B. 曜日にこだわらないステップアップ方式
決まった範囲の中で
生活リズム ⇒ 社会性 ⇒ 就労スキル
- C. 曜日ごとのメニューが大方決まっている。
生活リズムを整える

地域の状況、対象者の状態によって異なる
今のあなたの地域でできることから！



A. 曜日ごとのメニューは決まっていない

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			ビジネス マナー	職場体験	畑作業	休み
5	6	7	8	9	10	11
休み	ボランティ ア	キャリアプ ラン	しゃべり場	コミュニ ケーション	職場体験	休み
12	13	14	15	16	17	18
休み	コミュニ ケーション	ビジネス マナー	畑作業	ボランティ ア	しゃべり場	休み
19	20	21	22	23	24	25
休み	畑作業	職場体験	コミュニ ケーション	自己理解	ボランティ ア	休み
26	27	28	29	30	31	
休み	コミュニ ケーション	しゃべり場	パソコン セミナー	畑作業	ビジネス マナー	休み

B. 曜日にこだわらないステップアップ方式 (公財)沖縄県労福協のスケジュール(例)

週	内容	詳細
1	オリエンテーション 事前相談・確かめ表 ウォーキング 清掃 フィールド作業 面談 振り返り	オリエンテーション ⇒顔合わせ。こんにちは 事前相談など ⇒今の様子をいっしょに確かめよう ウォーキング・清掃 ⇒まずは体ならしと体力づくり フィールド作業 ⇒畑で体を動かして野菜を作ってみよう 面談 ⇒何でも気軽にどうぞ 振り返り ⇒毎日の調子や目標をいっしょに確かめよう
2	花植え作業 ワーク① ワーク⑤カードスピーチ レク体操 フィールド作業 面談 振り返り	花植え ⇒花植えて建物を飾ろう ワーク① ⇒字をゆっくりていねいに書いてみよう ワーク⑤ ⇒自己紹介ってこんなに簡単！オシャレって楽しい！ レク体操 ⇒ストレッチで体をほぐして、いろいろゲーム！ フィールド作業 ⇒畑で体を動かして野菜を作ってみよう 面談 ⇒何でも気軽にどうぞ 振り返り ⇒毎日の調子や目標をいっしょに確かめよう
3	ボランティア ワーク②お金どうする？ ワーク③認め合うこと ワーク④こんな時どうする？ ワーク⑥コミュニケーション フィールド作業 面談 振り返り	ボランティア ⇒人のために何かやってみよう ワーク② ⇒お金の出入り確かめて、やりくり上手になろう ワーク③ ⇒じぶんのこと伝えて、相手のこと聞いて ワーク④ ⇒人にうまく伝えるワザを身につけよう ワーク⑥ ⇒言葉ではっきり伝えよう、楽しく伝えよう フィールド作業 ⇒畑で体を動かして野菜をつくってみよう 面談 ⇒何でも気軽にどうぞ 振り返り ⇒毎日の調子や目標をいっしょに確かめよう

B. 曜日にこだわらないステップアップ方式 (公財)沖縄県労福協のスケジュール(例)

週	内容	詳細
4	ワーク⑦伝達ゲーム	ワーク⑦ ⇒絵で伝えられる?文字で伝えられる?
	ワーク⑧協働ゲーム	ワーク⑧ ⇒他の人といっしょに力を合わせて助け合いながら
	フィールド作業	フィールド作業 ⇒畑で体を動かして野菜をつくってみよう
	職業訓練ガイダンス	職訓ガイダンス ⇒資格や技能を身につけて、そして仕事へ
	グッジョブセンターツアー	ツアー ⇒仕事の探し方おぼえて、ためしに探してみよう
	面談 振り返り	面談 ⇒何でも気軽にどうぞ 振り返り ⇒毎日の調子や目標をいっしょに確かめよう
5	ワーク⑨調理実習	ワーク⑨ ⇒みんなで手分けして作ってみよう、食べてみよう
	ワーク⑩想いのマップ	ワーク⑩ ⇒少し未来の自立した自分の姿を思い描こう
	企業見学	企業見学 ⇒なるほどなるほど
	就労体験	就労体験 ⇒自分だったらどうやって働こうかな?
	面談	面談 ⇒まだまだ何でも気軽にどうぞ
	振り返り	振り返り ⇒最初の頃を思い出して。こんなに違うっ!
	聞き取り相談	相談など ⇒これからどうする?訓練?就職?
修了式	修了式 ⇒おめでとうっ!	
前後	事前個別面談	面談 ⇒ゆっくり話そう、ていねいに話そう、簡潔に話そう、 相手に分かるように話そう
	事前説明会	
	終了後個別面談	

C. 曜日ごとにメニューが決まっている

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			パソコン セミナー	畑作業	ビジネス マナー	休み
5	6	7	8	9	10	11
休み	コミュニ ケーション	ボランティ ア	パソコン セミナー	畑作業	ビジネス マナー	休み
12	13	14	15	16	17	18
休み	コミュニ ケーション	ボランティ ア	パソコン セミナー	畑作業	ビジネス マナー	休み
19	20	21	22	23	24	25
休み	コミュニ ケーション	ボランティ ア	パソコン セミナー	畑作業	ビジネス マナー	休み
26	27	28	29	30	31	
休み	コミュニ ケーション	ボランティ ア	パソコン セミナー	畑作業	ビジネス マナー	休み

希望に応じた曜日だけ
の参加も多い。

どんなセミナーのテーマがあるのか・・・
同じセミナータイトルでも内容、目的は異なる。

日常生活自立支援

〔 外に出てみよう
・個人ワーク 〕

クリニカルアート（絵を描く）

PC（ステップ①②）

清掃①・花植え①・畑作業①

（植えつけ、収穫他）

調理実習①・家計管理①

食の大切さ①

ドリームマップ

（欲しいもの目標をコラージュ）

片づけ講座・ボランティア①

手びねり陶芸・ストレッチ

アルコールとの付き合い方など

社会生活自立支援

〔 集団の中に入る
→役割を持つ 〕

PC（ステップ③④⑤）

清掃②・花植え②・畑作業②

調理実習②・食の大切さ②

家計管理②・救命講習

インプロ①

SST①

（生活編コミュニケーション訓練・ロープレ）

認知行動療法

マイナス思考からプラス思考へ

パン作り&販売&接客体験

ボランティア②など

就労自立支援
(就労をより意識した段階のセミナー)

PC (ステップ⑤)

SST② (仕事編)
自己理解セミナー
職歴の振り返りセミナー
企業実習前セミナー
求人広告読み方セミナー
仕事理解セミナー
未来プランニング
身だしなみ講座
マイナス思考からプラス思考へ
パン作り&販売&接客体験
ボランティア③
企業実習見学ツアー前講座
就労定着準備セミナー

PC (ステップ⑥)

求人の探し方セミナー
企業実習前セミナー
志望動機作成セミナー
面接マナー (面接練習)
電話応募セミナー
講和「働くとは」
認知行動療法的セミナー
企業実習見学ツアー
就労体験
企業実習

複数センターの協働
自立相談支援事業・他機関との連携の視点も！！

セミナーメニュー

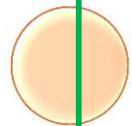
受講生の興味・適性・能力に合わせて企画 (段階別)
* 地域によってセミナー内容異なる
* プログラムは相談者の状況に合わせて

【演習 3】

自分たちだけでは開催できないメニュー
(教えられない、場所がない)がありますか？

どんな工夫をすればできるでしょうか？
(どこを、誰を巻き込むか？)
グループで、考えてみましょう！

ヒントをください！

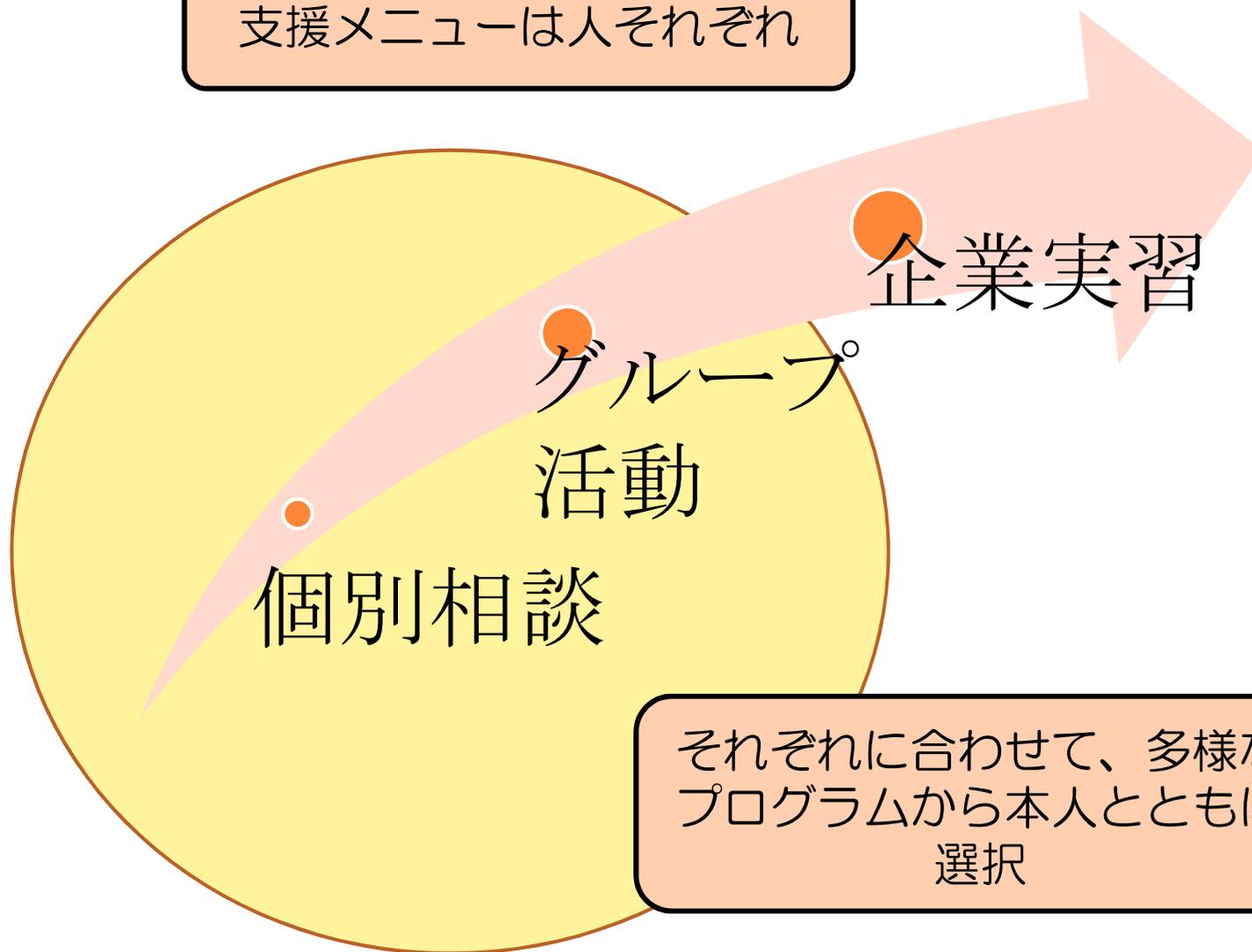


近くのグループからアイデアを
もらってきちゃいましょう！



社会復帰へのホップ・ステップ・ジャンプ(補足資料)

支援メニューは人それぞれ



まとめ

◎意欲の低い人

☆就労準備講習の入り口は入りやすく！

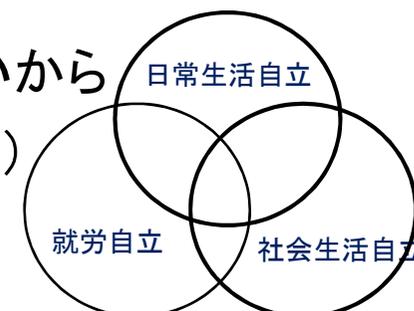
「興味・能力・価値観等」に合わせたメニュー・タイトル

☆何がその人の意欲喚起のきっかけになるか分からないから

多彩なメニュー（グループ活動、ボランティア、企業実習）



自己実現



自己選択・自己決定

◎ステップアップ

⇒自己肯定感を高めるためスモールステップでのメニュー

その段階に応じたメニュー

◎個別支援（個別アプローチ）をグループ・社会活動の中で！



⇒プログラムはあるが、一人ひとりの目標設定と承認

対象者の状態に合わせた多様な支援メニューが効果的



まとめ

◎「就労準備支援事業」は

居場所～集団の中での学び～就労体験を通じた学び

「就労準備支援事業」を通してできることはたくさんある。



●この講座の目標

対象者の状態に合わせた支援メニューの開発の必要性を理解する。

◎「できない理由」ではなく、「できることから一步一步着実に」

仲間を増やす！ 地域というチームで

◎地域にある「社会資源」各機関、各事業との連携

⇒ **連携で相談者の可能性が広がる**



是非！ ◎地域・対象者に合わせたメニューを創造！



就労準備支援事業はいろいろ！

基本は
個別アプローチ！

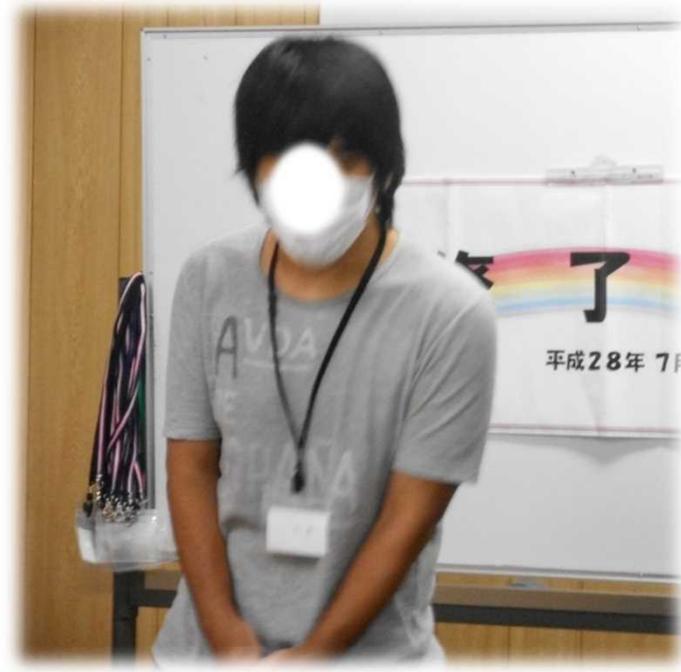
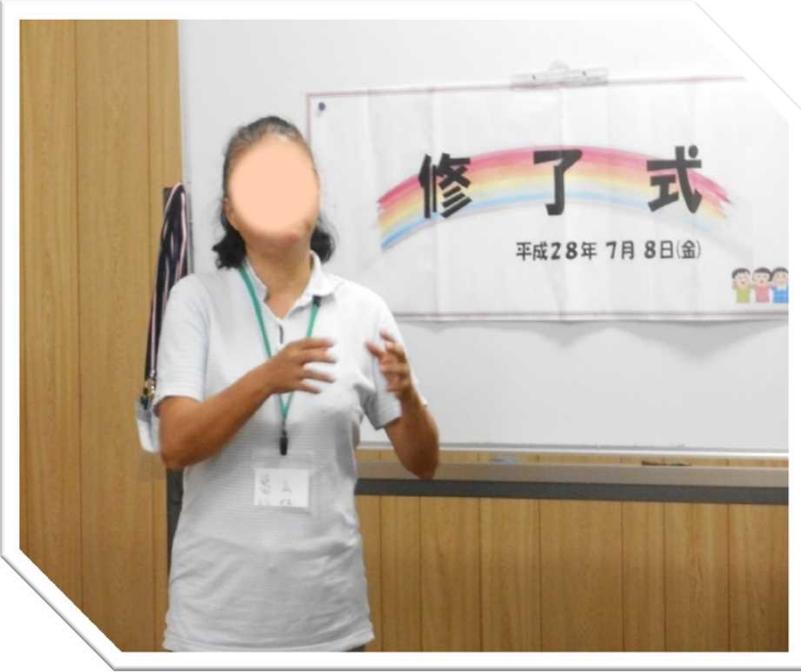
それを
窓口、相談室ではなく
小集団の中で様々な活動の場を活用して効果を高める。

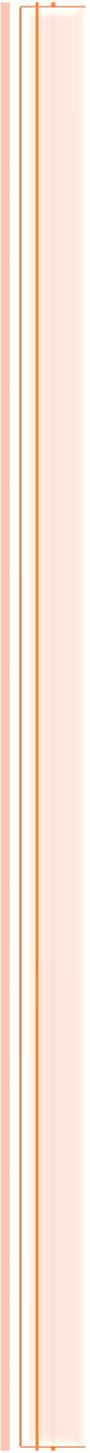
グループの効果！

**就労準備講習、ボランティア、就労
体験など、その人の合わせて！**

就労準備支援事業 修了式







事例紹介



支援事例紹介【簡易】 ～被保護者～

①年齢を理由に就職を渋っている60代女性

実は…外は危険がいっぱいだと思っていた。

当初の「つまらない」という気持ちが、講習に参加して「楽しみ」に。

細かい作業が好きで集中できる。 ▶▶▶アクセサリー製造(内職)

②子育て中&うつ病。何かやらなくちゃ…と焦って就活する40代女性

集中力が続かない。頑張りすぎたり、考えすぎたりする。

毎日の講習に参加することで、自身の体調や気持ちに焦りがある事に気付く。

講習参加も他者とのコミュニケーションも「一生懸命」頑張りすぎること、帰宅後の家事が滞る傾向が見られた。就労前に「今、自分に必要な事はうつ病と向き合うこと」と自覚できるよう促す。 ▶▶▶福祉センターのうつ病デイケアへ

③引きこもり15年、就労経験1か月の30代男性

10代の頃からいじめによる不登校で引きこもり。就労経験は県外で製造業1ヶ月のみ。他者とのコミュニケーションが苦手目と目合わせて話せない。

講習中はスタッフとは話すが周りの参加者とは話さない。でも「質問をしてみよう」と提案すると実行する挑戦力がみられた。当初は目標を立てることも出来なかったが、現在は原付免許取得をしたいと本人から発信あり、次へのステップへ向かっている。

▶▶▶企業実習登録し、実習実施予定

支援事例紹介【簡易】 ～被保護者～

④長期未就労で発達障がい疑いのある60代男性

5年以上生活保護受給。就労意欲が低く指導命令あり
特性としては、人との距離が近いなど発達障がいの疑いが感じられた。

講習中は他者との会話を楽しみ、興味関心のあるパソコンには集中して取り組む姿勢が感じられた。調理実習では調理経験を活かし周りに包丁の使い方や調理の手順を自主的に教える部分を発揮！

▶▶▶調理関係のお仕事に就職決定！2ヶ月定着中

⑤飲酒が続いて単身60代男性

過去に酒害教育&断酒経験があるも、再飲酒が続きCWの電話や訪問にも音沙汰なし。
他者との会話は好きなので「就労準備講習」には興味を示し、飲酒継続状態のまま当事業に繋がる。

「飲酒状態では参加禁止」と約束し、講習開始4日は断酒して参加。(離脱症状あり)
講習中はスタッフや他参加者との会話を楽しむが、途中、再飲酒&講習欠席が続く。
状況確認の電話を継続する中で「お酒を辞めたい、辛い」との発言がありCWと連携し、依存症デイケア&精神科入院へ繋がる。翌年、本講習再受講。

▶▶▶主治医の指示通り「焦らず」「ゆっくり」と社会参加へ

就労準備支援担当者養成研修 3日目

支援プログラム・メニューの開発

目標：

対象者の状態に合わせた支援メニューの作成の必要性を理解する。

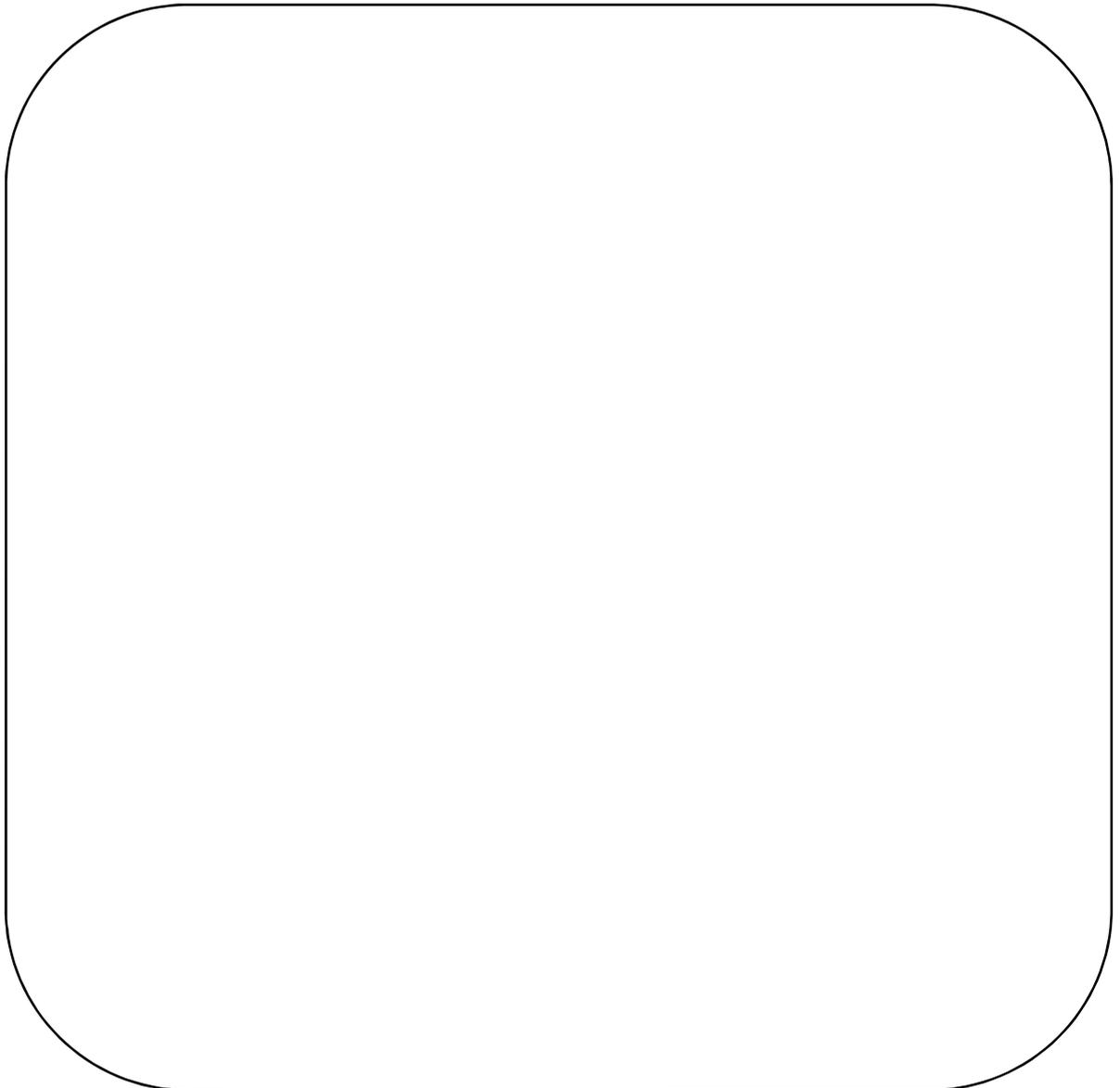
- 実際にプログラムを作成してみよう。

演習1

頭の体操！！

あなたが考え付くセミナーメニュー（プログラム）をできるだけ多く付箋紙に書き出しましょう！ 就職支援の一般的なメニューだけでなく、一風変わったメニュー、自分の地域で取り入れてみたいメニューという視点も入れて考えてみましょう！

付箋紙に記入（セミナー名、目的、内容など）して、このスペースに張り付けましょう。



演習2

テーマ；相談者に合わせたメニューを開発してみよう！

Q：母親と二人暮らしの40歳の男性。母親の年金で暮らしており未就業期間が15年。

（親の施設入所に伴い、自立相談事業に繋がった）その他にも40代後半以降の単身生活をしている男性がセミナーへの参加を渋っている状況である。頑固、気が弱い方などコミュニケーションに課題のあるも多い。そのような対象者向けの1か月のセミナープログラムを各グループで1つ作成しましょう。

ポイント

1か月のプログラムの中のセミナーメニューをいくつか考えてみましょう。

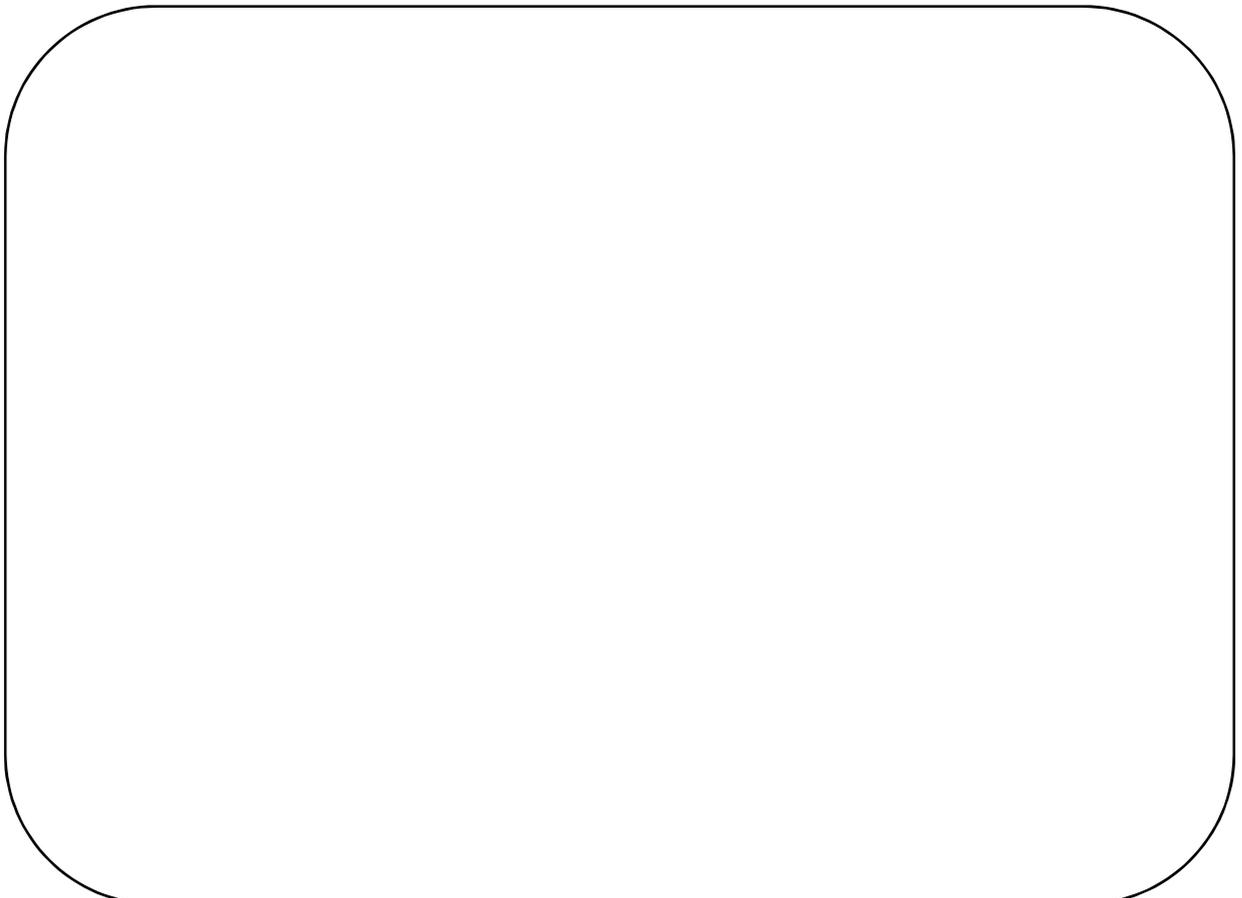
1. セミナーへ参加することへの不安やためらいがある方が多いですが、まずはセミナーに参加してみようという気持ちになってもらえるように、ストレンクス視点で参加しやすいセミナーを考えてみましょう！

*自分がそのセミナーの講師をできるできないではなく、こういう相談者層にはこんなセミナーがいいのでは・・・という視点で考える

①個人ワーク

まずは、自分自身でできるだけ多く考えてみましょう！

付箋紙に「セミナー名、内容、目的など」を記入して張り付けましょう。



②グループワーク

グループのみんなで共有しましょう。

1. 真ん中の模造紙に①で記入した各自の付箋紙に書かれているセミナー名や内容、目的等を説明しながら張り付けましょう。

③みんなでそのグループで取り入れるメニューをひとつ選んでください。

タイトル
選んだ理由

2. 次にコミュニケーションに課題のある方が多いので、コミュニケーション力をつける工夫を凝らしたメニューも取り入れたいと思います。メニューを考えてみましょう。

*自分がそのセミナーの講師をできるできないではなく、こういう相談者層にはこんなセミナーがいいのでは・・・という視点で考える

①個人ワーク

まずは、自分自身でできるだけ多く考えてみましょう！

付箋紙に記入（セミナー名、目的、内容など）して、このスペースに張り付けましょう。



②グループワーク

グループのみんなで共有しましょう。

1. 真ん中の模造紙に①で記入した各自の付箋紙に書かれているメニューの内容や目的等を説明しながら張り付けましょう。

③みなさんのグループで取り入れるメニューをひとつ選んでください。

タイトル
選んだ理由

演習3

各グループごとの「参加しやすいメニュー」と「コミュニケーション力をつけるためのメニュー」がそれぞれ一つずつ決まりました。

では、

グループで1か月の就労準備支援プログラムを作成してみましょう！！

地域に帰ったら、すぐに使えるように考えてみよう！！

①**演習1**で記入した付箋紙の内容と目的などもみんなで共有して模造紙に張り付けてください。

②メニューを分類して、それぞれにタイトルをつけましょう。

(例) 生活リズム、居場所、体力づくり、自己理解、コミュニケーション訓練、ボランティア、就労体験、キャリアプラン、ビジネスマナー、その他

③これまで出てきた付箋紙を使って、一か月のプログラムを組み立てましょう。

スケジュールの組み立て方

(例)

A. 曜日ごとにメニューが決まっている

生活リズムを整える

B. 曜日にこだわらないステップアップ方式

決まった範囲の中で 生活リズム ⇒ 社会性 ⇒ 就労スキル

C. 曜日ごとにメニューは決まっていない。

模造紙にカレンダーを記入し、メニューを記入した付箋紙を張りながら1か月のプログラムを作成しましょう！

日	月	火	水	木	金	土
		1 	2 	3 	4 	5
6	7 	8 	9 	10 	11 	12 
13	14 	15 	16 	17 	18 	19
20	21 	22 	23 	24 	25 	26
27	28 	29 	30 	31 		

研修を通しての気づきなどを記入しましょう。

いいえ

9. 【タバコは吸いますか？】

はい ⇒1日何本吸いますか？ (だいたい 本)

いいえ

※はいと答えた方は下記の質問にお答えください。

- ・禁煙外来に通った経験はありますか？ はい いいえ
- ・減らしたいと思いますか？ はい いいえ
- ・現在、止めたいと思っていますか？ はい いいえ

10. 【朝起きることができますか？】

はい
いいえ

11. 【何時間くらい眠ってますか？】 (だいたい 時間/日)
⇒あなたにとって、理想の睡眠時間は？ (時間)

12. 【睡眠は足りていますか？】

はい
いいえ

13. 【眠り過ぎていますか？】

はい
いいえ

14. 【夜中によく目を覚ましますか？】

はい
ときどき
いいえ

15. 【そのとき何をしていますか？】

()

16. 【日頃、階段を上り下りすることはありますか？】

はい
ときどき
いいえ

17. 【何か運動はしていますか？】

はい
ときどき
いいえ

※はいと答えた方は下記の質問にお答えください

・どんな運動をしていますか？ ()

・どのくらいの頻度でしていますか？

週1回 週2～3回 月2～3回 その他

18. 【最近、不安を感じることはありませんか？】

はい
いいえ

★もし、かまわなければスタッフにいつでも相談してください★

19. 【自動車運転免許を持っていますか？】

はい

□いいえ ⇒免許がなくて困ったことはありますか？
 □はい ⇒それはどんな時ですか？（ ）
 □いいえ

※いいえと答えた方は下記の質問にお答えください。

【原動機付自転車免許を持っていますか？】

□はい □いいえ

【以前は持っていましたか？】

□はい □いいえ

20. 【原動機付自転車免許以外の免許・資格を持っていますか？】

□はい ⇒それは何ですか？
 （ ）

□いいえ ⇒免許・資格を取りたいと思いますか？
 □はい ⇒それはどんな免許・資格ですか？（ ）
 □いいえ

21. 【働きたいと思いますか？】

□はい ⇒どんな仕事がしたいですか？（ ）
 ⇒その仕事にはどんな免許・資格・技能・経験が必要ですか？
 （ ）

□いいえ ⇒理由がありますか？
 □はい ⇒それは1つですか？ 2つ以上ですか？（ つ ）
 ⇒その理由がなくなれば働きたいと思いますか？
 □はい
 □いいえ

22. 【働いたことはありますか？】

□はい ⇒現在に近い方から書いてみてください。

期 間	年 月 日	年 月 日	年 月 日
仕事内容			
働きかた	□社員 □契約 □派遣 □パート □アルバイト	□社員 □契約 □派遣 □パート □アルバイト	□社員 □契約 □派遣 □パート □アルバイト
辞めた理由	□会社都合 □自己都合 □契約満了 □その他()	□会社都合 □自己都合 □契約満了 □その他()	□会社都合 □自己都合 □契約満了 □その他()

□いいえ ⇒働かない(働けない)理由がありますか？
 □はい それは1つですか？
 □はい 2つ以上ですか？（ つ）

※その理由がなくなれば働きたいと思いますか？
 □はい
 □いいえ

23. 【だいたい1日1回は外に出ていますか？】

□はい ⇒外で何をしていますか？（ ）
 ⇒それはあなたにとってやりたいことですか？
 □はい □いいえ
 ⇒他に外でやりたいことがありますか？
 □はい ⇒それは何ですか？（ ）
 □いいえ

□いいえ ⇒外に出たいと思いますか？ □はい □いいえ

24. 【部屋(家)の中で何をしていますか？()】

それはあなたにとってやりたいことですか？

はい

いいえ

その他（

）

他に家の中でやりたいことがありますか？

はい ⇒それは何ですか？（

）

いいえ

25.【人前で話すことは出来ますか？】

はい

いいえ ⇒(理由:

）

例：緊張するから等

26.【あなたが思う大勢の人数はどのくらいですか？】

5～10人

10人～20人

20人以上

その他（

）

27.【人と話すとき、心がけていることはありますか？】

はい ⇒それはどんなことですか？（

）

いいえ

28.【話す場面で、何か困った経験はありますか？】

はい ⇒それはどんなことですか？（

）

いいえ

29.【現在、何人で暮らしていますか？】

単身世帯

複数世帯（ 人）

30.【いっしょに住んでいる人とよく話しますか？】

はい

いいえ

31.【もっと話したいと思えますか？】

はい

いいえ

32.【字を書くのは好きですか？】

はい

いいえ

33.【じぶんに向いている仕事とやりたい仕事はちがうと思えますか？】

はい

いいえ

分からない

34.【どんな仕事をしたいと思っていますか？】

（

）

35.【そのために何が必要だと思えますか？】例：資格、経験など

（

）

36.【言っておきたいこと、伝えておきたいことがありますか？】

（

）



☆☆ありがとうございました♪一緒に楽しんで取り組んでいきましょう☆☆